



御成
卷七

菅原素直
傳

元祿九年板

共
八

79
624
1



目録
624
巻1-8



茶湯敏立指南序

身也親比枝也身體發膚又母よらあう
ら無子^ハ中^ニて^ハ暗昧^ナらう
きより^ク房^ノま^ニふ^ル解^ル孫^ノ念^ハ事^ノありと
只^ハ心^ノ何^レ世^ノ人の^一つ^ノ物^ニも可^ク
如^キ也^ト茶湯^ノ之^集と^編て^ハ院^ノ茶^と焉^ト
あり其^レ後^ニ雪^月集^と編^て院^ノ茶^と焉^ト
しめ^ハ一^冊と^然る^を之^集ハ^宿全^ノ
作^ル入^ル也^と然^るを^之集^と湯^流傳^集と

夫^レ三^ノ者^ノ南^ノ 卷^一

〇^ノ序^一

選て^{エラン}次^{カワ}を^{キヤ}と^{ドウ}す^ビび^クら^ク子^スする^止茶^道此^理明^也
ハ^テ給^ク昔^ヨより^スそ^レ未^ダ今^ノ席^ニ此^理見^ル
此^をお^も茶^席故^ニ立^テ指^シる^を縁^{あり}
利^休の^百舎^をそ^とく^世人^の如^くら^うま^らら^ぬ
去^昔此^の人^はあ^らく^と此^の茶^席此^の理^をあ^らけ^り
又^此理^の事^ハ孫^らあ^らむ^所あ^らむ^亡又^の理^を
め^よ後^に孝^子又^茶席^の孫^子あ^らく^らい^らむ^べ
四^よ兄^及び^すな^らむ^又之^の所^毎歳^に口^切
の^抄理^を粗^末と^して^部つ^とい^ひか^らむ^也

一^ノ身^をそ^とか^れ世^に入^る孫^にて^時節^に此^の
ふ^らむ^也又^孝子^の名^を取^る今^もあ^らむ^也
有^べし^其ハ^右の^如く^の事^にあ^らむ^也
又^大法^院河^成之^の事^ハ予^にて^茶席^の理^を
あ^らく^とつ^るの^理事^ハあ^らく^とあ^らむ^也
の^物諸^其道^を立^たす^る切^者の^人は^あら^む
あ^らむ^所の^事を^筆に^て記^する^也
是^をそ^の代^にあ^らむ^也
よ^ハ茶^席此^の理^を口^切す^る也

夫立旨南 卷一

八深き真多る其日よ生得の受用も
 又抑少く知の秘つるを所も八分して
 止我又八分よ及所は道修の案人右
 以道の書と補給へは我老親親と
 師らよ解まると老するのそあるも
 元禄九丙子洛下之隠士遠者氏
 彦長抄元閑敬自

淡き真多る其日よ生得の受用も
 又抑少く知の秘つるを所も八分して
 止我又八分よ及所は道修の案人右
 以道の書と補給へは我老親親と
 師らよ解まると老するのそあるも
 元禄九丙子洛下之隠士遠者氏
 彦長抄元閑敬自

茶湯敏立指南本之目録

- 大尹院大看之大要
- 御成此方指看
- 月庭茶の看
- 月書院茶の看
- 月松茶之看
- 此方三幅一對若竹の大生花看
- 月二幅一對童子松の大生花看
- 月大掛物牡丹の大生花看
- 月大松松又菘の花石枕の看

次のる大竹塙記入梅椿の異者

日大秋の物よ兼之一色異者

日大倣銅よ蓮花の一色異者

日破物行よおき春の立石異者

日大節よやよよひやうのせうご異者

日菊矢よ水他の立交異者

紙戸がまへの者

縁かたの藪子庄比者

藪子屋比の者

松之百足塙物書向箱式つ者

松之百足塙此庄者
 湯屋雪院之大意
 大廊下長圓炉之る膳比のる大意
 七万拾部る抄記比のる之大意
 河成をむすき要道
 河成の侯あり
 河立魚足打門膳寸法
 河相伴立魚膳寸法
 河膳比のる公初之大意
 河色屋き吉比者

河申船之御立

二之河船之御立

三之河船之御立

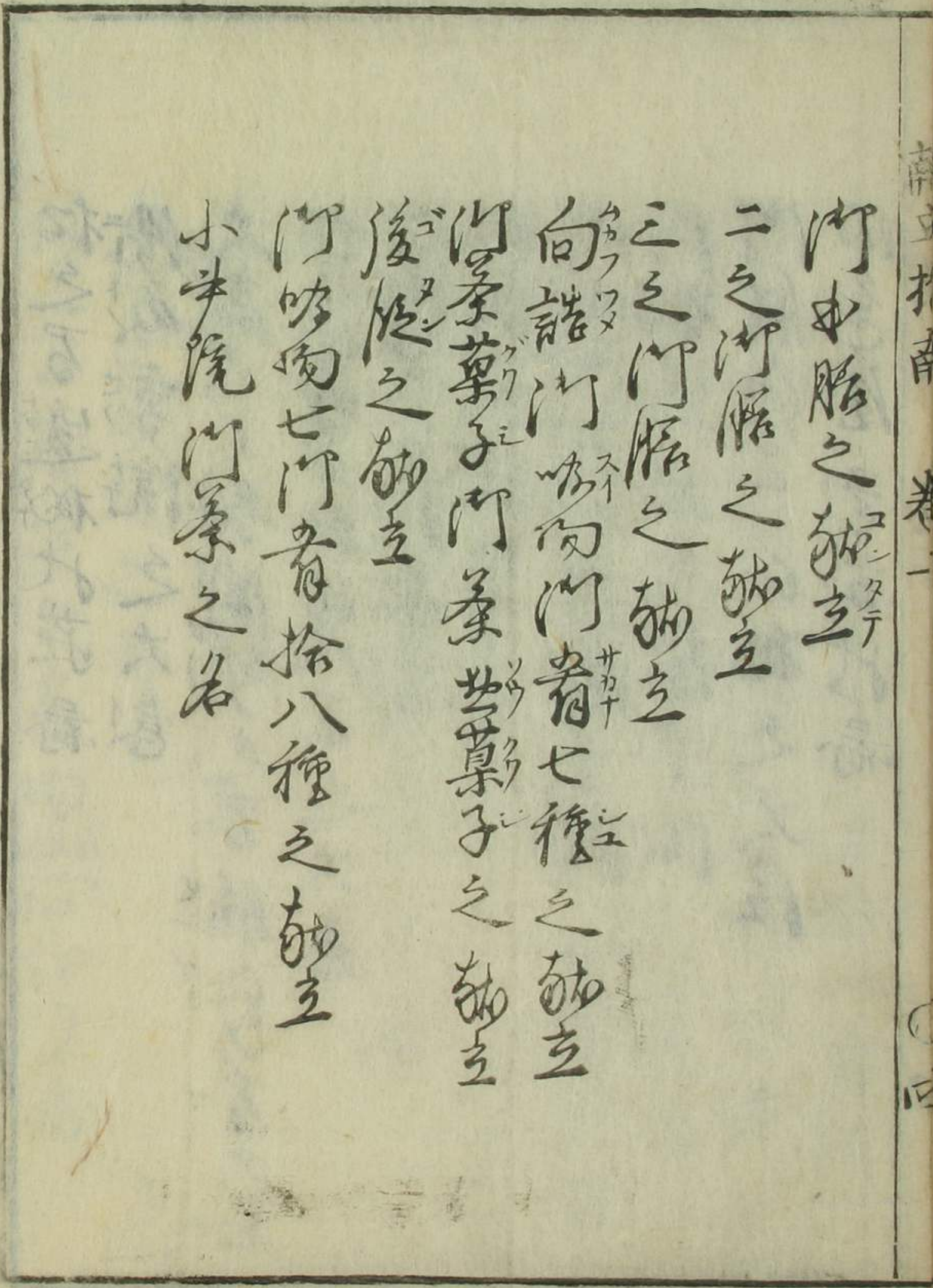
向諾河向河者七種之御立

河茶菓子河茶菓子之御立

後徳之御立

河吹向七河者拾八種之御立

小半院河茶之名



茶湯御立指南書之一

大半院大湯之大事

一御成と心がけると二之御と三之御とより大半

院の善徳と三徳あり大半の御立通る河

徳あり又家の大小より其の家此徳よりより

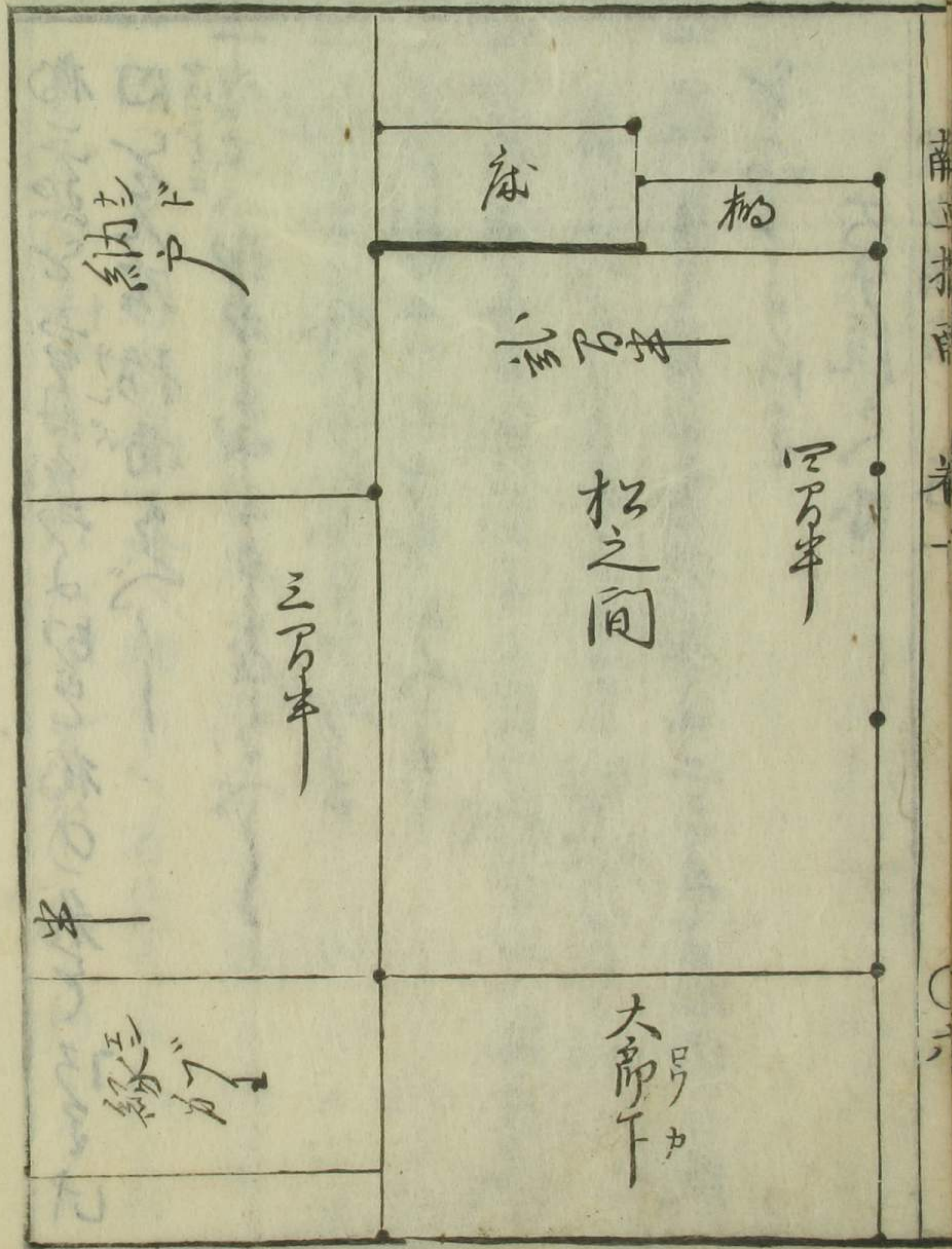
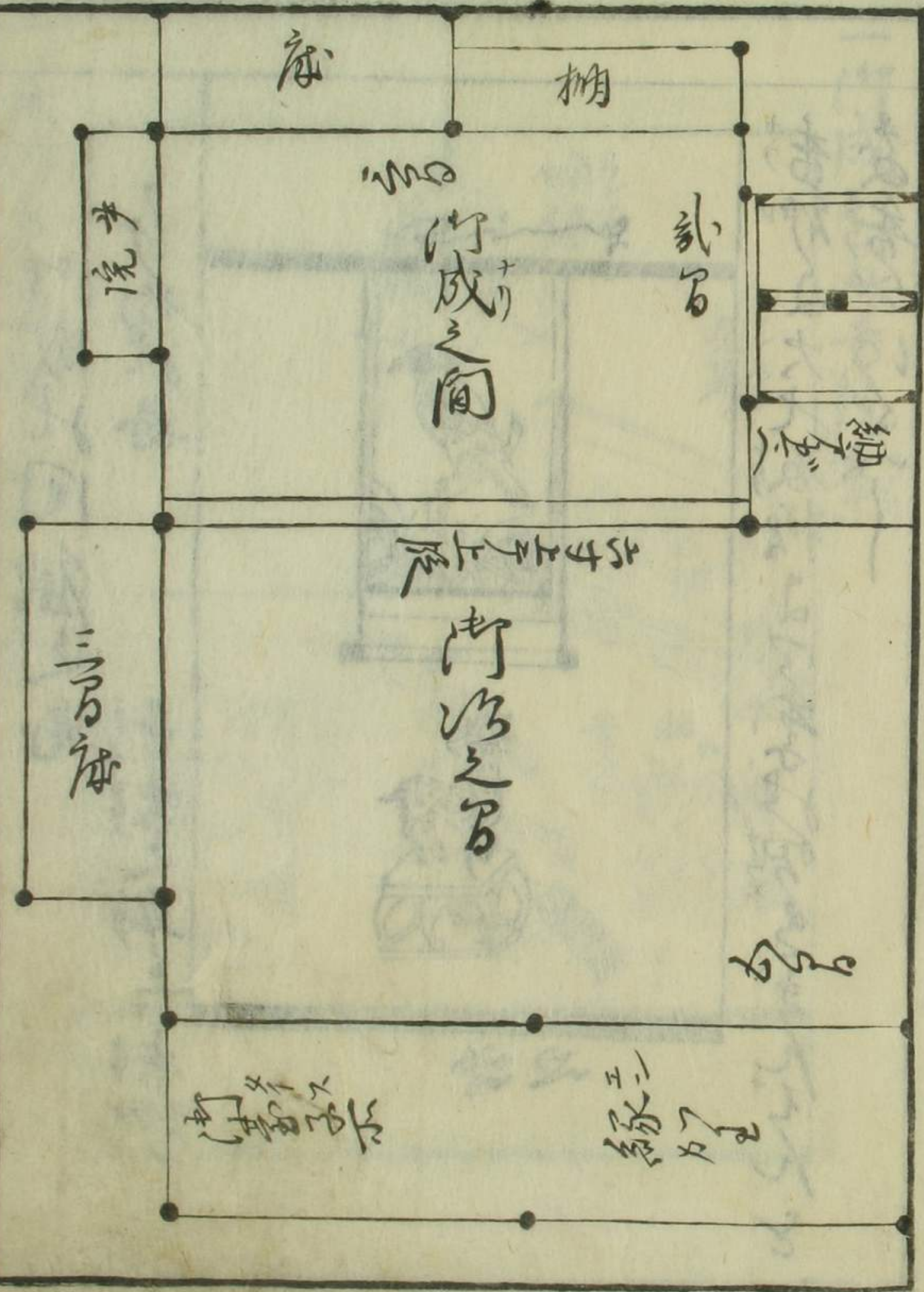
あり又家の大小より其の家此徳よりより

とくく分とあり善徳あり御立

一大半院此式正ハ方立此御立より我武の御

事あり大半よりより御立あり御立

よりより御立あり御立あり御立



河成此同庭之喬

物此喬

中史之阜上香好

鳥



御縁

香好又火此反極又字香子此物さぎんぐんと
香好をばぐべし

河成之百步院系

見屏

喚鐘



水



油
筆荷



硯



墨



一丸の方書物上よ文鑑

一河成之万柳此高



一三幅一對



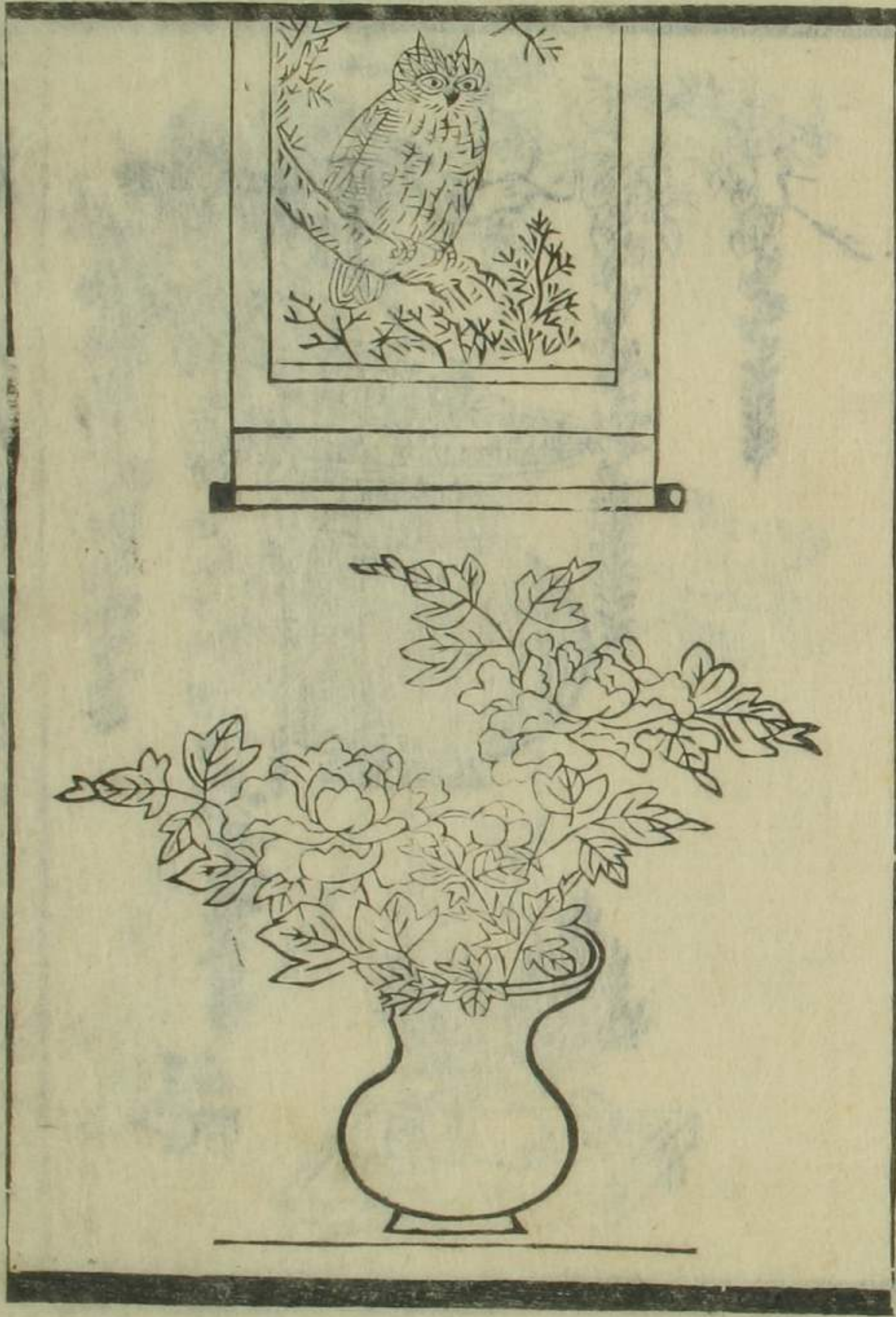
一若竹此大生之記

一二幅一對



一かろろねた大生花

一大榜物



一梅の大生花

犬五箇角 卷一

南無抄目

卷一

九

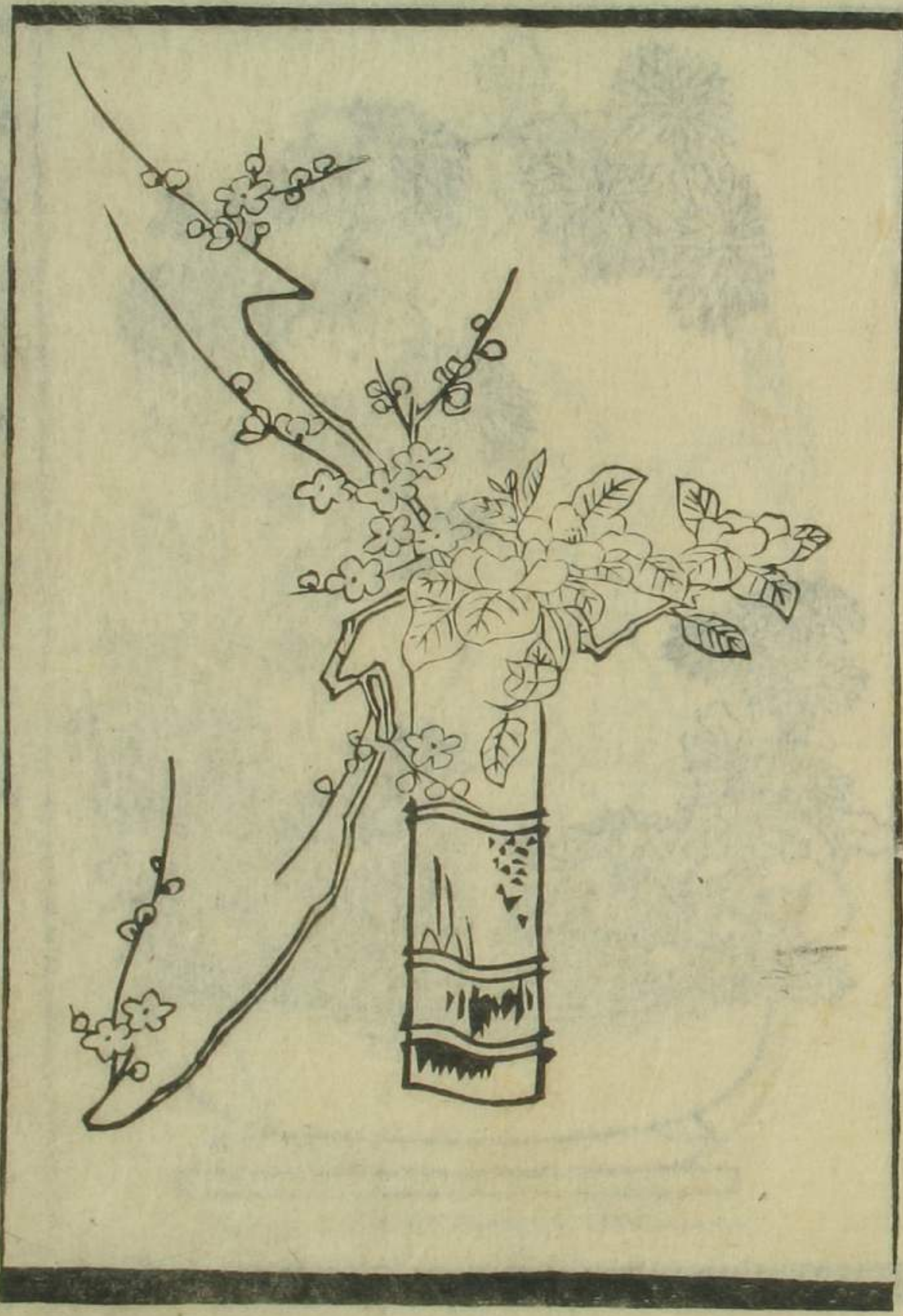
一大翁松小菟此瓶絲花



世年
石帆

一うろ松此大かきり

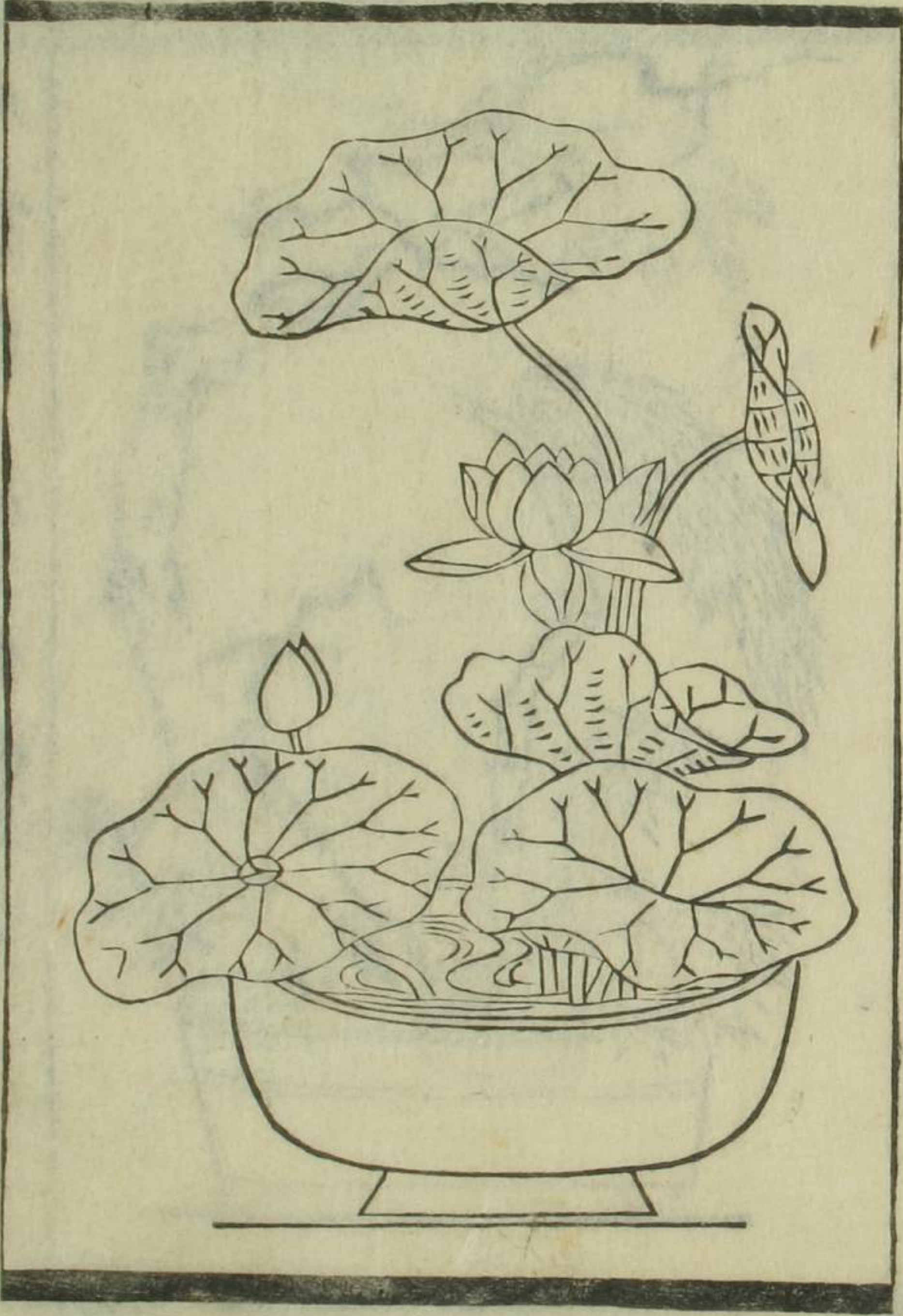
一大目此絲花入梅つらさ



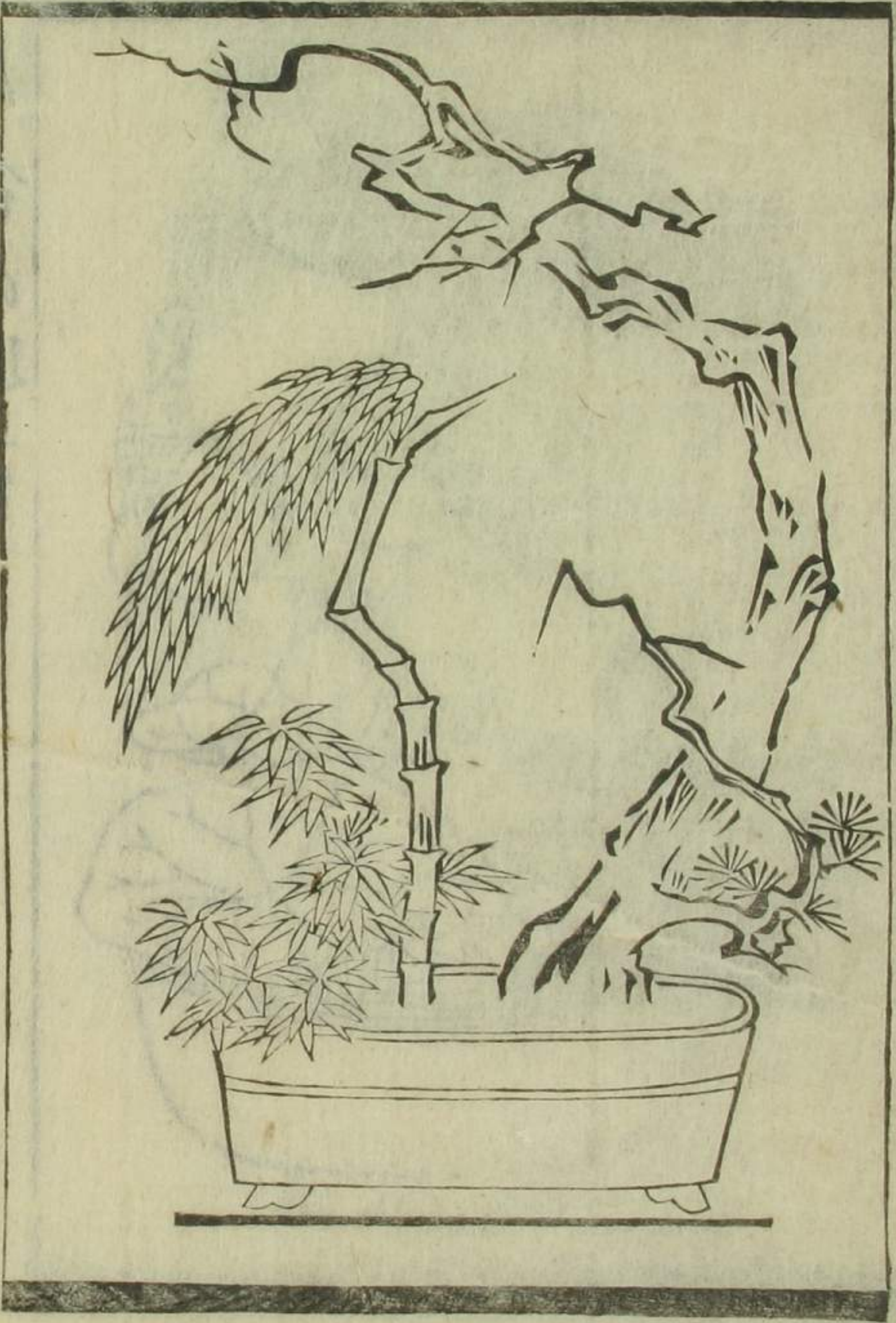
一大破物鉢以兼之一色



一大版銅此蓮花



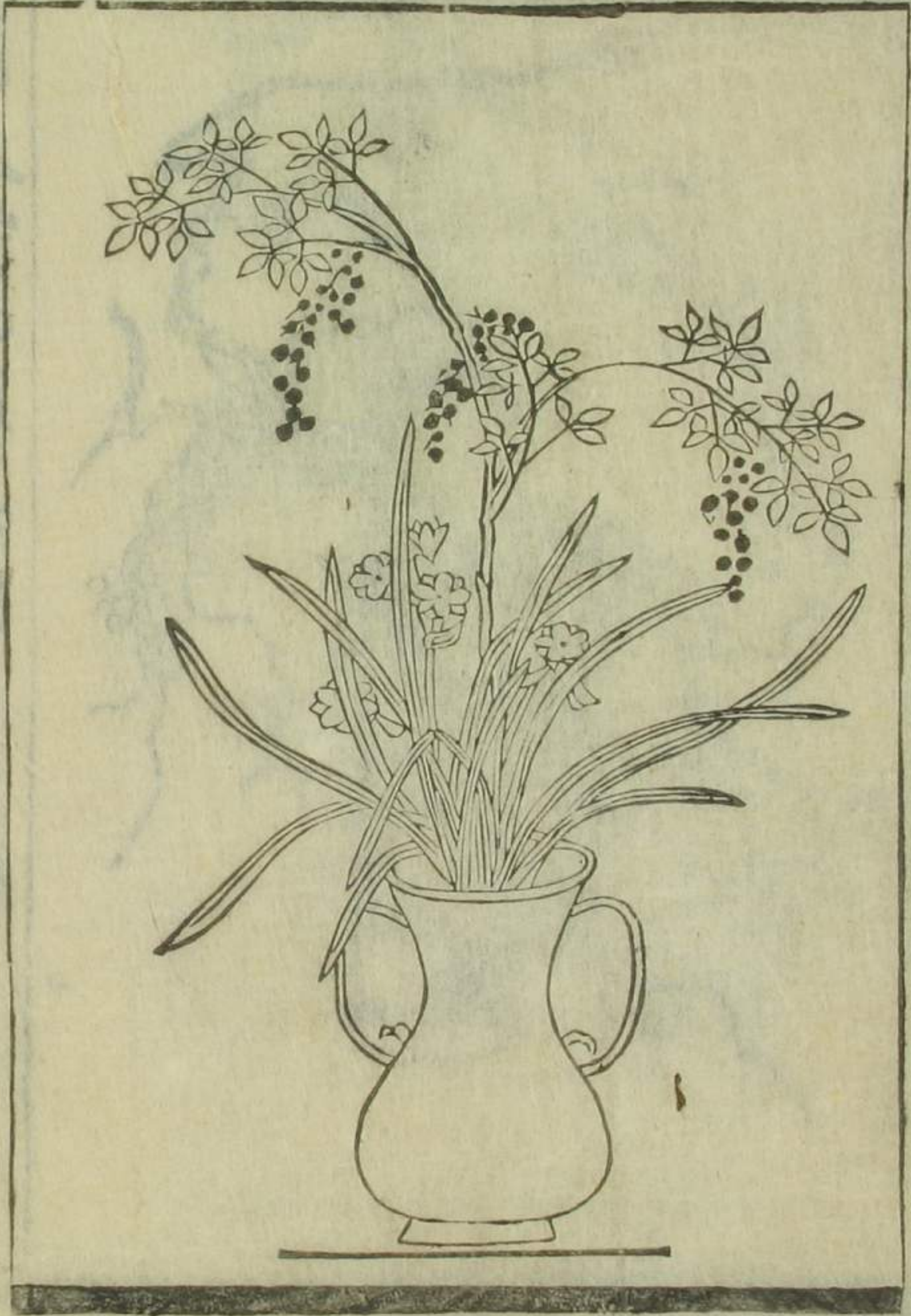
一 取物鉢竹と加色生花立合



一 大筒と色紙とひしきとせし

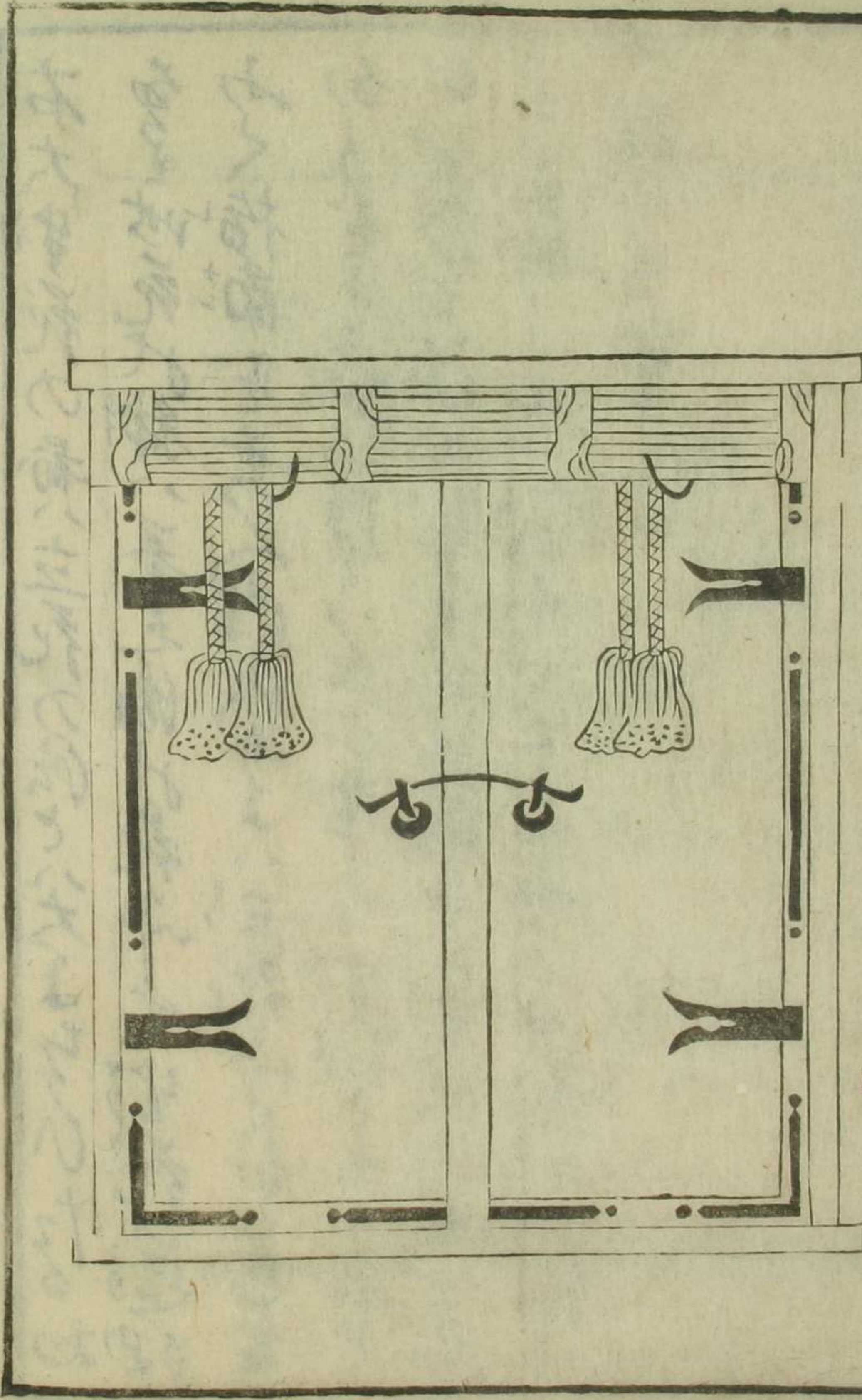


一 南立ちよ水仙の立文



右大生花の番ハ立花の法とハ大よちぢひたるお
 ろも此花は舞ハ茶之湯は花ふて生花の通り
 少く指南と世人所成あよハ立花少くも色ぢ
 あらぶともしはまらんあまもし生花と云りあま
 かまはを程儀あま其の故よ大生花の番と色
 くよか世人のあぶさとするは花のにはあま
 一理ハあま

一大女院納戸加多代荷英ニ之



一大女院納戸加多代荷英ニ之 此は遊付河

為茶を上る

昔所此荷

後河膳所

今後茶の時

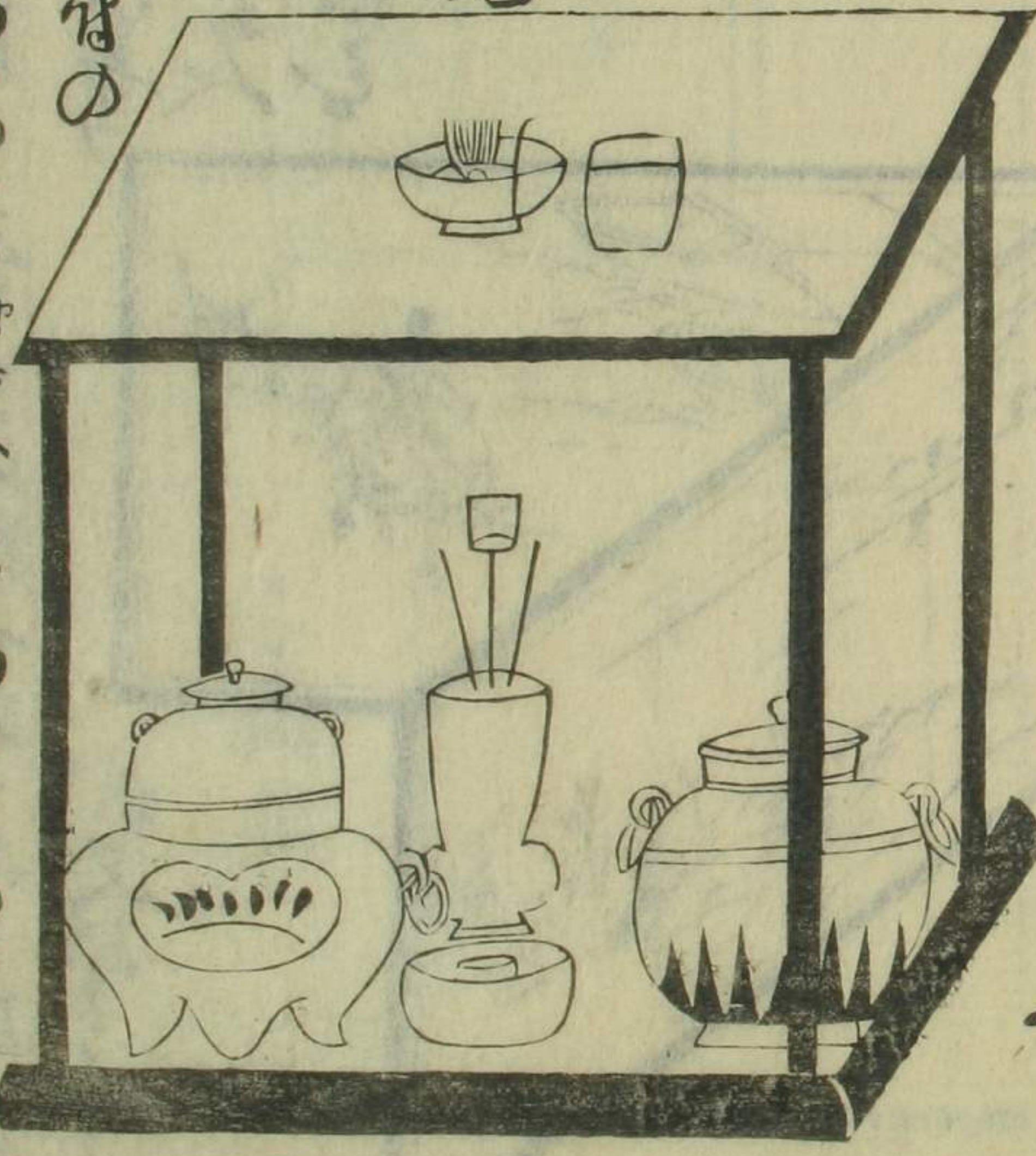
上のかつら

オモモリ

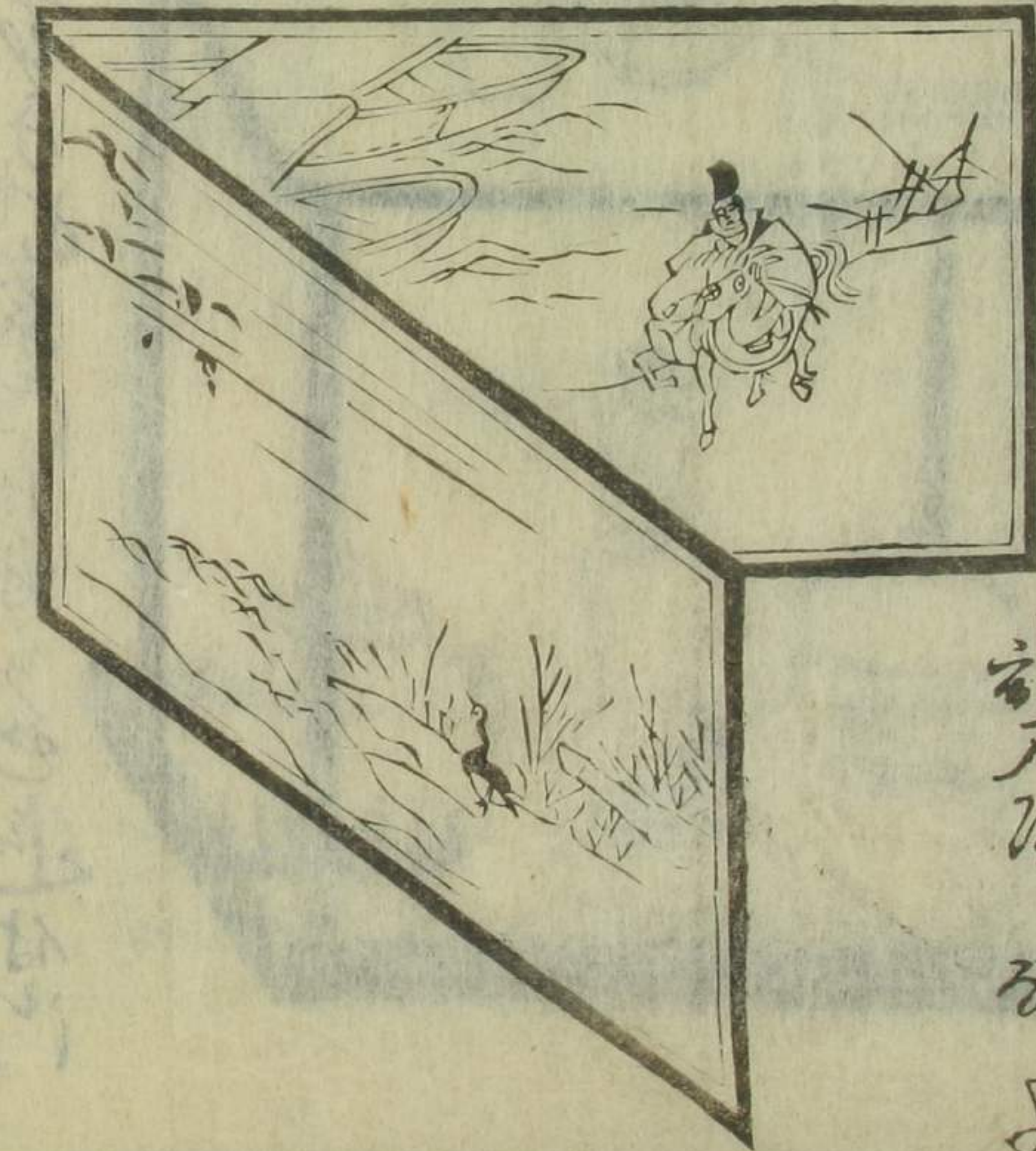
オモモリ

入る時ハツ目付の

おめくろみ何れはめろとて水持よし入る日流

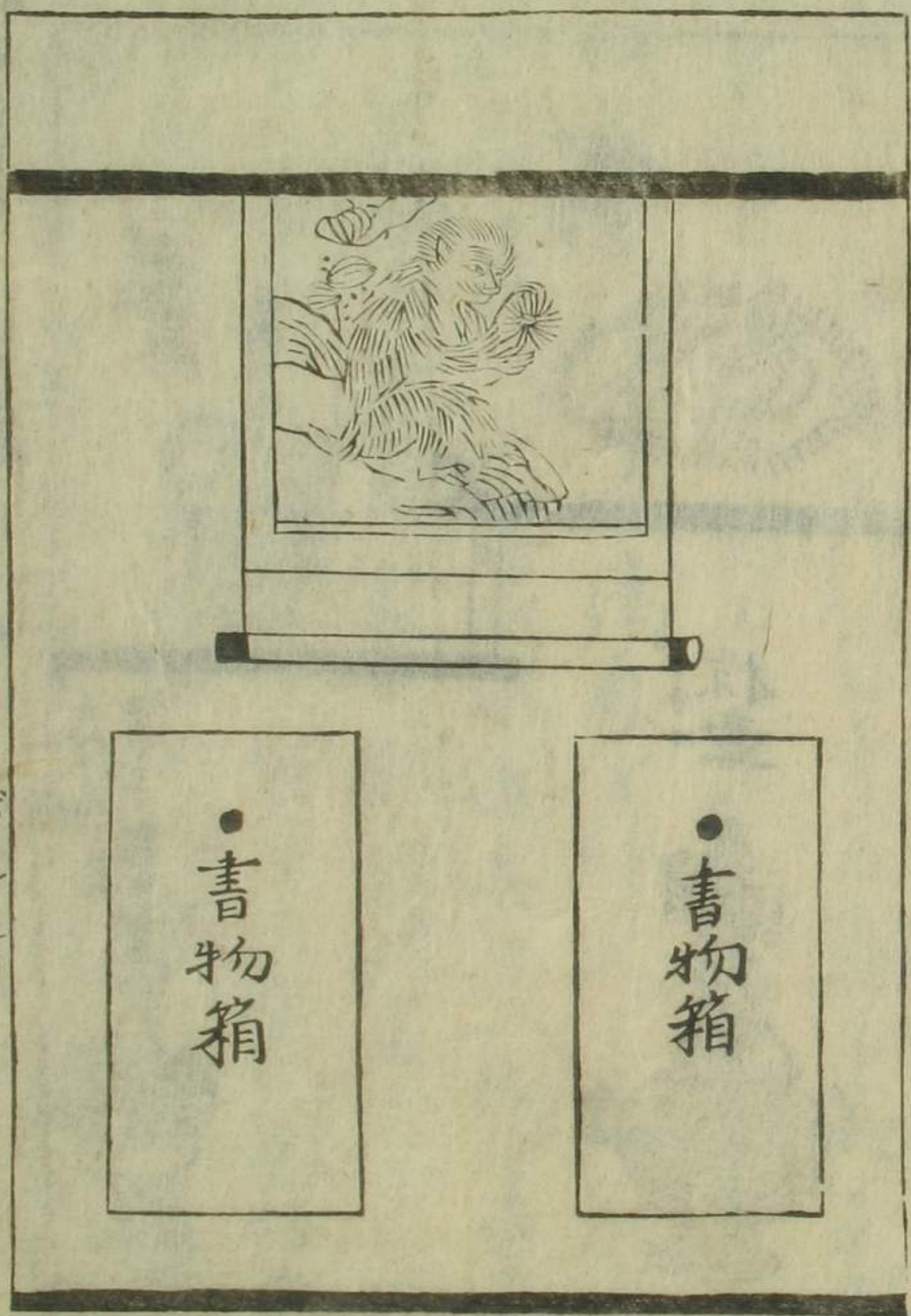


此其よしとちりし
べし一屏風の長
わきの縁とす
しりしとす
か



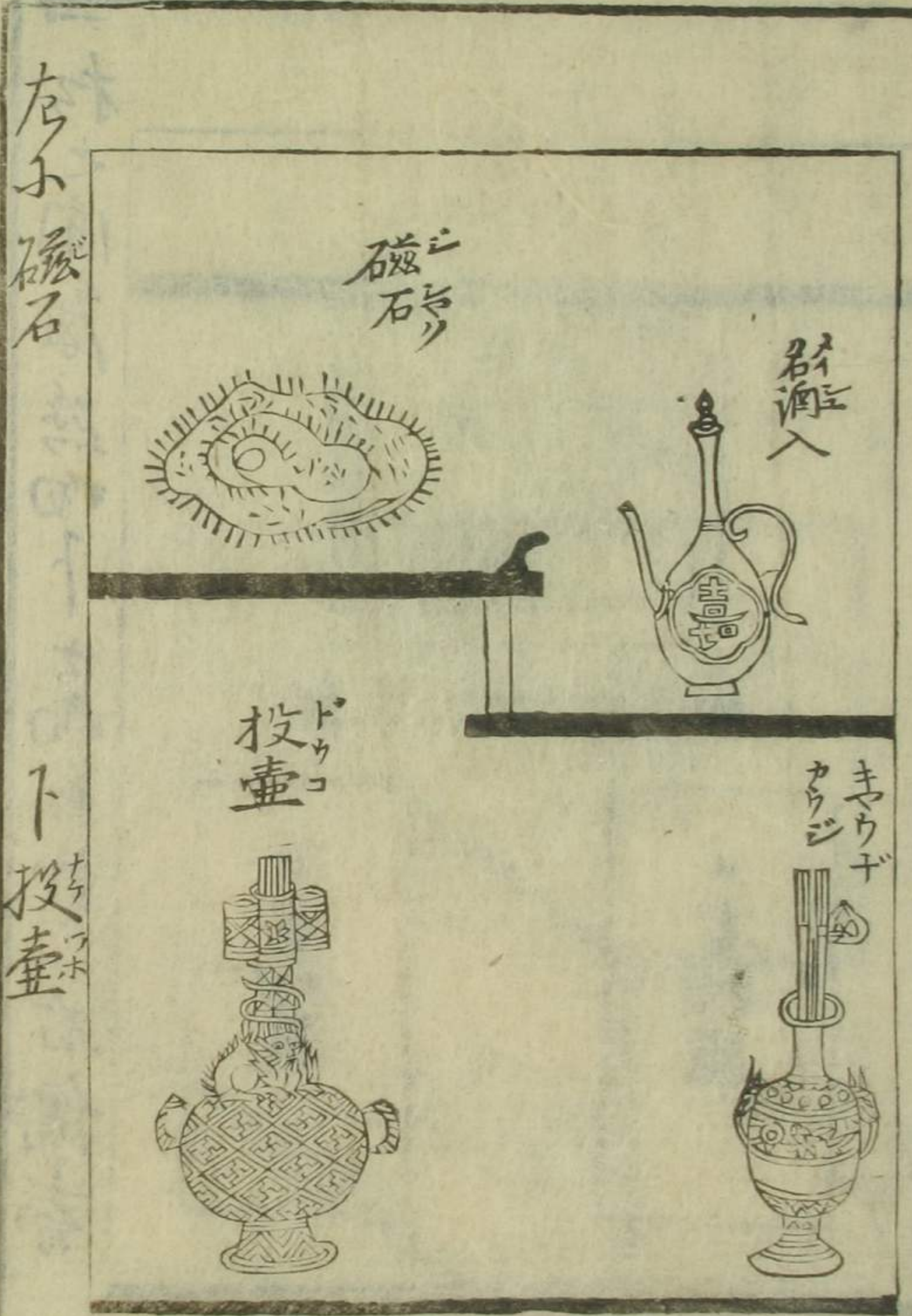
此又のりり
か

三 枳之間座懸物ト之物おけつ右儒書



左軍書

一 杖之乃ちぐひの柳此莊右名入香匙火盆



左小磁石

下投壺

湯殿室院此大意

一 門成之乃外縁より付てなる廊下此は門書
 院と仰るは極々大なる家よりなるべし
 一 門成之乃門付て湯殿を仰るべし河内水た
 らしむる湯入千外の水通矣二入物と垂べし
 大廊下長圓形表懸此は
 一 三方よりなる此は中ニ勢方ニニ尺圓形なる
 河内水たけり外に吹向木の物をなかく置下
 一 階の乃三方よりなる此は向ハ凡呂和こころの
 懸柳と書と書中より直垂と書べし

七る拾貳る秘理の問大意

一 七る此戸^{ミナ}松之六るハ尋^ミ出^ル方ハ中^ミ松^ノ方^ニズ
 其中^ニヨ^リヨ^リ三^ノ尺^ノ長^ク國^ノ表^ニ何^レモ^ハ金
 何^レリ^ト後^ニ三^ノ面^ノ方^ニズ^ニ道^ニサ^レ方^ニズ^ニ
 方^ニ松^ノ方^ニ向^キ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ水^ノ松^ノ方^ニ向^キ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 大小^ノ方^ニズ^ニ十^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ大^ノ方^ニズ^ニ
 如^ク土^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 番^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 番^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 番^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 番^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ

河成と事難事

一 大^ノ院^ノ出^ル方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 大^ノ院^ノ出^ル方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 大^ノ院^ノ出^ル方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 大^ノ院^ノ出^ル方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 大^ノ院^ノ出^ル方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 大^ノ院^ノ出^ル方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 大^ノ院^ノ出^ル方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 大^ノ院^ノ出^ル方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 大^ノ院^ノ出^ル方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ
 一 大^ノ院^ノ出^ル方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ一^ノ面^ノ方^ニズ^ニ

三つあり書付らるべし
 一河がゆひは身役人を定共くよき時おと
 よりむね古はとべし 然るに河あ之通さ
 常は仕つけらる河通舟おはさかどより
 ほかよりび法あり 程古をいさべし
 一河抄記ゆきおあ書はれき人河自付て
 抄理人をよの法法令しよあく定むべし
 一あ人よりび法ゆきをんせ河好考あ叔
 考とる考其よきとてゆきを三極自然
 人のんきよりひのぬと抄理よ違時分
 人

たる事有り其故ありと吟味すべし 又ハ
 抄人へすすり時ハ必書おはを吟味しを時
 ハ河好しある事何ま又書くやんを時ハ好
 の心し河の由へん念だるまし無也と書極の
 河河
 一ハ醫河とを人又ハ抄人ゆきを定む時なる
 よりび法きよりべし 自然河右のぬを
 り吟味すべし 又而もあおハゆきと云
 一ハ目以吟味しとてゆきとらり分る然ハ醫
 大高よりけゆら吟味すりぬ

一 河合鉄すく九寸四方縁をとり六寸表板
 をすくふとむじし
 一 河相伴^{セウ}船ハ表を人四方縁のるサをす
 足の高サ鉄すく中船表九寸四方縁
 のるサ九寸足比高サをす八寸二比船
 表九寸四方縁のるサ八寸足の高サを
 す七寸二比船何と乗りつらふやうべし
 一 合鉄すくハ九寸四方縁をとり六寸表板
 をすくふとむじし
 一 船表九寸八寸七寸縁のるサ七寸足比

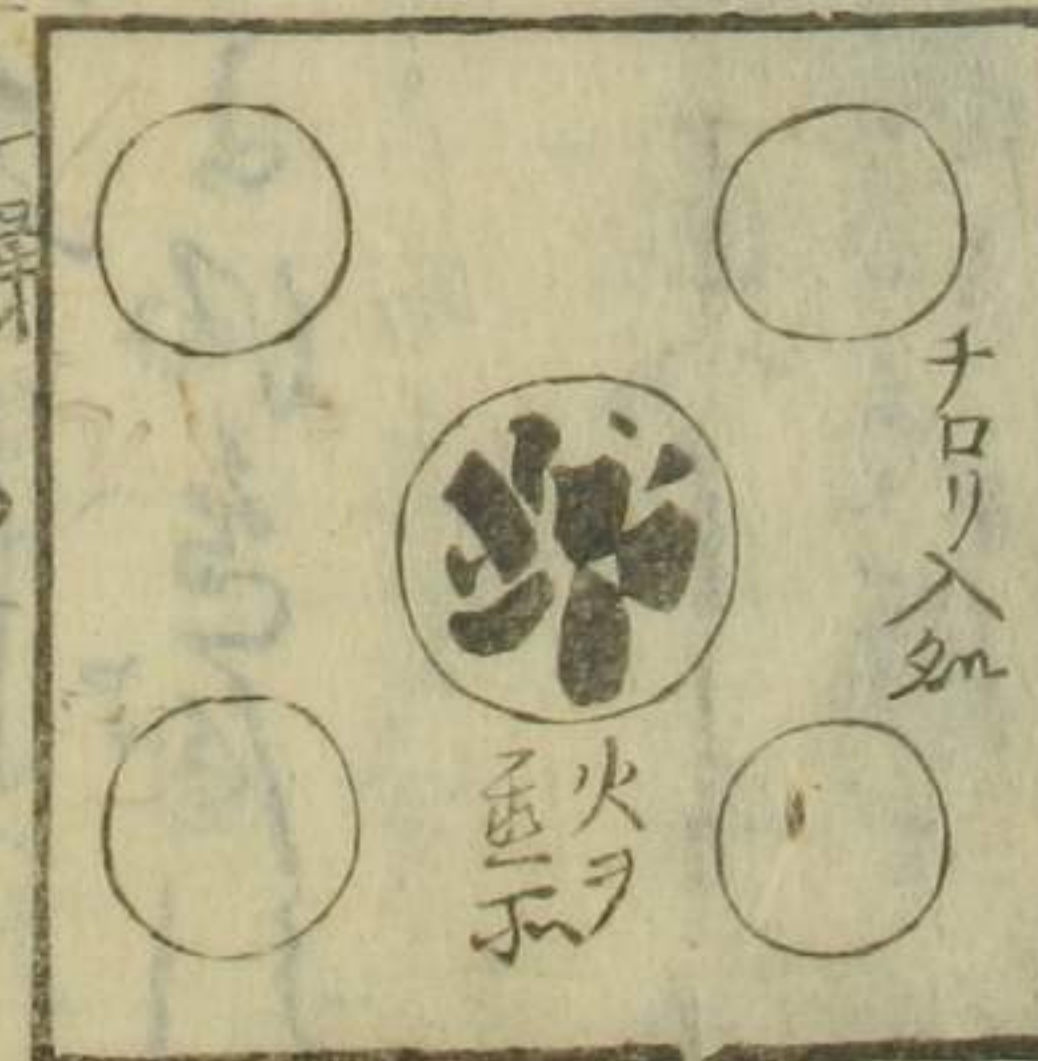
サはすめと何と乗りつらふやうべし
 一 船^{ゼン}縁のるサは四方縁ハ酒色^{ホヤ}船
 付るべし
 一 二寸のちか長サ六尺鉄船をべしを船
 ハ河船道長よりを船ハ河相伴^{セウ}比船を
 べし
 一 二寸のちか長サ六尺鉄船をべしを船
 二河船の道長よりを船ハ河相伴^{セウ}の二の船
 一 二寸のちか長サ六尺鉄船をべしを船
 ハ二河船の道長よりを船ハ河相伴^{セウ}の二の船

一向部 部多 河部 物 三つ 八の せ せ せ
一 河部 の 類 一 河部 茶菓子 類 三つ 一 類 三つ
あ 尺 の を せ せ

右 腰 部 あり せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ
部 人 氣 付 垂

一 酒 せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ
は ば ぐ べ ー 一 骨 せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ

よ ち り り せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ
垂 何 せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ
と 河 部 せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ



為 せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ

八月廿六日 河成式正 始立

激 せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ
河 本 膳

河 結

河 香 物

河 餅

河 箸 紙 二 包
脇 楊 枝 紙 二 包

河 和 物

河 食

く め び 細 だ ち
く ん び せ
せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ

蒲三抄 卷一

二之河膳

平皿

御煮物

白煮物
申

生煮

汁

汁

牛房
申
申

錦手申皿

御焼物

申

小皿
焼物
割定

三之河膳

杉板
かきき
あんまんの葉

指身

糺子付
糸作り
ひき作り

御汁

申
申

南条梅

直煮酒

伏三番百 卷一 〇六三

一 大船子 白焼子 八寸

一 赤子 鴨子 平皿 八寸

中酒

河内物子 七寸

肴

一 じり子 角子 七寸

一 ぬ子 び子 せん子 ぐ子 小角子 八寸

一 河内物子 焼小船

一 くり子 八寸

一 焼餅子 中櫃子 八寸

一 河崎向 田か〜〜〜が好子 きんあぶ油

一 小板のまのりニ 小櫃八寸

一 一〜〜^{トリス} 鱈 ちり直七寸

一 河崎向 ニキウめ 水尻のり きんあぶ油

一 ま〜〜びらめ 少白八寸

河茶菓子 ら〜〜 饅頭 小縁高八寸

水栗 替地の紙七寸

河茶 初ひ〜 替天目 金銀をぎつ

物菓子 大和柳 大鉢 大和菓子 中鉢 やま九寸 やま八寸

後戻

小豆

小豆粉

さぢ

温飩

直

かき大根

け

所吸物

ユキ子

所食

つぎ下

平皿

所煮物

ひし子

つげまき

大梅子

茶碗皿

所和文

合お湯

あじびせん

あじびせん

あじびせん

一 少子焼 ちん 小櫃八寸

一 ころも 焼 四七寸

一 所吸物 ごり ゆ海老 りも油 為留油

一 修海老 エ 海老 千 盤鉢八寸

一 小煮 牛 麩 ら の た 煮 り 重鉢八寸

一 所吸物 こ の も の す の お け

一 一ッ 黒 作 り へ ぎ せ ら が 直七寸

一 湯漸 ヒテ 湯 あ ら び 合 お 湯 中四

一 一ッ 湯 あ ら び 合 お 湯 中四

一 たいら ぎ 小串 櫃八寸

一 所吸物 ち ん の こ も

一 所 吸 物 こ の も の す の お け 長直七寸

一めづり色付焼 小櫃八寸

一たき家の坊ど 蓋茶碗 漬づけ 大根

一あじびれ餅貝 錦中皿七寸

一子籠比餅の餅 四角皿七寸

一小葉あじび 小櫃七寸

一ツタ肉 厚比きげ 唐揚げ 唐揚げ油

一酒麩 切えんぶ 重箱八寸

一このらり 中皿七寸

一虫拾すうめ 中櫃八寸

一竹吹肉 小きいへくうたニ 小きいへ

一ゆんだと 中鉢八寸

河原薬子

くりに餅モチに
あつち

河原 くらむら

河原子大縁高

らん
木のきり
白雪しらゆき
のりやき
丸せんまるせん

九寸

き

三田屋

河原

切

か

